

学校教育目標 『人間性を磨き たくましく生きる生徒の育成』 「自主 創造」



いわき

意和氣のかと心でチャレンジ!

由利本荘市立岩城中学校
2024. 2. 9 (金) NO. 18
文責：校長 船木

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。 アンケートを集計し分析した結果をお知らせします。

アンケート結果の詳細については、別添の「令和5年度学校づくりアンケート」をご覧ください。生徒アンケートと保護者アンケートの結果を比較できるように並べ、各学年と全校の集計結果をグラフで表しております。

生徒アンケートの集計結果

設問別に見ますと、肯定的な回答の割合が、設問5「日常的に安全に気を付けて行動している。」が95.6%、設問3「『共助』の気持ちを持ち、互いに協力している。」が93.4%、設問13「学校はよく分かる授業をしている。」が93.4%、設問14「先生は生徒の安全、安心を守るために努めている。」が91.2%、設問20「学校でタブレット等のICT機器をよく活用している。」が90.1%と上位を占めています。また、前回よりポイントが増加した項目が17項目中13項目あります。中でも設問5「日常的に安全に気を付けて行動している。」、設問14「先生は生徒の安全、安心を守るために努めている。」では、肯定的な回答のうち「Aそう思う」と回答した生徒が6割以上おり、前回のアンケート調査と同様に、普段から安全について高い意識をもちながら生活していることがうかがわれます。

一方、設問7「学ぶことに喜びを感じ、主体的に学習に向かっている。」が64.8%、設問8「何事にも積極的にチャレンジし、自分を高めようと努力している。」が67.0%、設問4「自分の健康に関心を持ち、心身共に健康な生活を送っている。」が75.8%と、肯定的な回答のポイントが低い項目があります。中でも設問7「学ぶことに喜びを感じ、主体的に学習に向かっている。」の項目については、「Aそう思う」が23.1%と非常に低く、前回の調査と同様の傾向となっています。しかし、前回調査と比較するとポイントが上昇しており、改善の兆しがあります。生徒が積極的に物事に挑戦し自分を高めることと、主体的な学習については関係性がありますので、生徒のやる気を大切にしながら、生徒が活躍できる場を設定することで主体性を一層育んでいきます。

保護者アンケートの集計結果

肯定的な回答の割合が生徒の回答の割合を下回っているものが、前回の調査では17項目中15項目あったのが、今回の調査では13項目となっています。中でも設問13「学校はよく分かる授業をしている。」、設問20「学校でタブレット等のICT機器をよく活用している。」の項目では30ポイント以上の差があり、子どもの学力向上やタブレットの有効な利活用について、保護者からの学校への期待の大きさが読み取れます。

設問別に見ますと、肯定的な回答の割合が、設問14「学校は生徒の安全、安心を守るために努めていると思う。」が92.2%、設問3「お子さんは『共助』の気持ちを持ち、互いに協力することができる。」が90.6%、設問2「お子さんは寛容の気持ちを持ち、相手の立場で話しを聴いたり、話したりできる。」が89.1%、設問5「お子さんは、日常的に安全に気を付けて行動できる。」が87.5%、設問11「学校は、校報、学年・学級通信等により学校の様子をよく伝えている。」が82.8%、設問12「学校はお子さんにとって楽しいところとなっている。」が82.8%と上位を占めています。

一方、設問7「学ぶことに喜びを感じ、主体的に学習に向かっている。」が51.6%、設問19「学校は地域の人材や素材、資源を積極的に活用している。」が57.8%、設問20「学校はタブレット等のICT機器をよく活用していると思う。」が57.8%、設問15「学校はいじめの把握や防止、対応に努めている。」が59.4%と低いポイントとなっています。設問7については、生徒と保護者の両方で最も低いポイントとなっており、本校の最大の課題として捉え、改善に向けて来年度の取組を検討していきます。また、いじめの把握や防止については、12月からはじめたコミュニケーション面談や学校独自のアンケート等を活用しながら、全校生徒を全職員で支援するスタンスを大切にして取り組んでいきます。

「知・徳・体」をバランスよく育み、岩城地区の未来を担う人材育成のために、今回のアンケートや諸調査の結果を今後の学校経営に生かし、教育活動を充実させたいと考えています。

今回、生徒、保護者ともにインターネット（forms）を利用してアンケートを実施しました。保護者については前回の回答率が低かったので、アンケート用紙も配布して、紙での回答も可能としました。それによりインターネット回答と紙での回答の割合は、3対1となりました。学校としては来年度インターネットを活用した情報発信をより多くしていきたいと考えておりますので、アンケートはできるだけインターネット（forms）で回答していただければと思います。ご協力よろしく申し上げます。